



高知県立歴史民俗資料館

(南国市岡豊町八幡1099番地1 ☎@2211)

☆開館時間

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

☆休館日

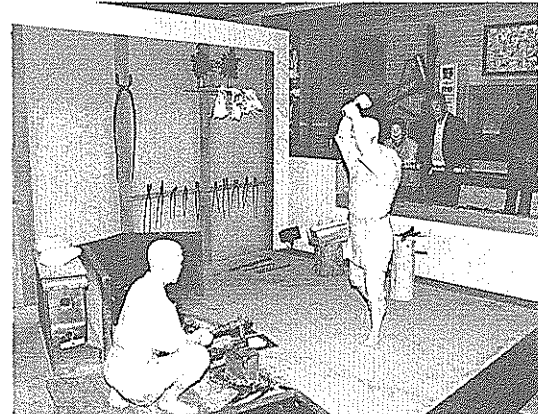
毎週月曜日
(祝日および振替休日にあたる場合は火曜日)
12月28日～1月4日

☆入館料(常設展示)

一般400円/中高生150円/小学生50円
団体(20人以上)割引あり
(長寿手帳所持者および療育手帳・身体障害者<1・2級>手帳所持者とその介護者<1名>は無料)

☆駐車場

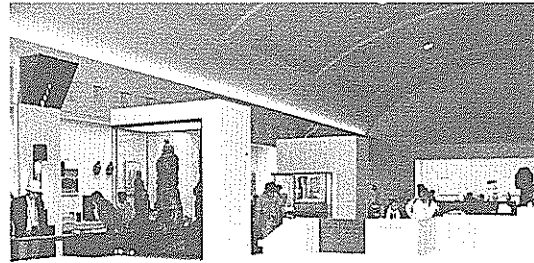
大型バス4台・普通車50台



民俗展示室

常設展示室
展示室を原始・古代、中世・近世、近現代のコーナーに分け、コア・シンボルに「田村中世環濠屋敷群復元模型」を展示。先土器時代から戦後まで、高知県の歴史に関する資料が多く収集・展示され、展示物には田村遺跡の水田跡、東崎五軒屋遺跡出土の壺棺墓など南国市に関するものも多くあります。

民俗展示室
人々の生活文化を黒潮洗う海辺の村々、四国山脈に抱かれた山間の村々、南国の恵まれた気候・風土の野の村々の3つのコーナーにわけて紹介。中央には海・山・野の生業を支えてきた鍛冶を展示。今ではあまり見られなくなった農具や漁具、祭りで使われる面なども展示されています。



常設展示室

文化遺産を

一堂に展示

岡豊山に歴史民俗資料館オープン



開館を祝い知事らがテープカット

岡豊山に建築が進められていた、県下初の歴史と文化の博物館「歴史民俗資料館」が五月二日に落成、三日より一般公開されました。歴史民俗資料館は、南国市の新たな観光施設として大いに期待されています。

県下初の歴史博物館

高知県の歴史、考古および民俗に関する資料の収集・保管・展示そして調査研究の場として昭和六十二年十月から

建築を進めていた県立歴史民俗資料館が五月三日にオープンしました。

県が総事業費約四十三億円を投じて岡豊山に建設された資料館は、総合展示室、民俗展示室やAVホール、企画展示室、体験学習室といった一般に利用される施設と収蔵庫や研究室、作業室などの調査研究を行う施設で構成。総合展示室と民俗展示室には多くの貴重な歴史資料が展示されています。

岡豊山は戦国時代の武将長宗我部元親の居城でもあり、資料館の周辺は岡豊城の遺構や山村民家と遊具を備えた子ども広場などの歴史公園として整備されています。

新たな観光拠点

国府、岡豊地域は多くの歴史、文化遺産を持つ地域です。国府地区は奈良時代から土佐国政の中心地として「国衙」が置かれ、紀貫之の「土佐日記」の起筆地でもあり、国分寺や永源寺の卵塔などの歴史的资源に恵まれ、岡豊地区には戦国時代「まことに土佐の出来人」とうたわれた長宗我部元親の居城「岡豊城」が岡豊山にあります。県内でも歴史的資源の多いこの地域の中で、岡豊山に新たに建った歴史民俗資料館は、県内外から多くの観光客の訪問が予想され、南国市の新たな観光施設として大きな期待がかけられています。それとともに、今後この資料館を拠点として、国府、岡豊地域の多くの歴史、文化遺産を結び付けた観光ゾーンを形成することが必要となってきました。